



令和6年8月1日発行
第75号

ながわまち

議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■
■編集／広報広聴常任委員会■

★「姫木平 ホワイトパーチ キャンプフィールド」★
(19ページに写真の説明を掲載しています)

●長和町議会 令和6年6月定例会

- ◇ 常任委員会審査報告 ○○○○○○○○ 2
- ◇ 一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 5
- ◇ 視察研修 ■ 議会報告懇談会 ○○○ 13
- ◇ 広域議会 ■ 組合議会 報告 ○○○○ 17
- ◇ 長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○ 20

6月議会

議会改革報告

(1) 議会本会議を全て「ゆいねっと」で放映

長和町ケーブルテレビゆいねっとでの議会中継は、これまで、開会日は提案理由の説明まで、一般質問全て、閉会日は一般会計予算決算の採決までを生中継及び録画放映していました。

6月議会は、情報広報課・ゆいねっとと調整し、試験的に開会日と閉会日の本会議、一般質問を全て生中継しました。録画放送は、テレビスタッフの負担を考慮し、これまで通りとしています。これからも、本会議は全て放映する予定です。

長和町議会令和6年6月第2回定例会が、5月31日(金)から6月17日(月)までの18日間の会期で開かれ、報告4件、承認案11件、条例案3件、補正予算案1件、陳情3件、意見書案3件について審議を行い、すべての議案が承認・可決・採択されました。また、7人の議員が一般質問を行いました。審議結果は議会HPに掲載しますので、下記QRコードからご覧下さい。



(2) 議会運営のデジタル化を進めています

長和町議会では、令和5年6月より本会議に出席する議員と理事者のタブレットを導入し、議会のデジタル化とペーパーレス化を進めてきました。令和4年12月議会で委員会条例を改正しオンライン



議案書等を表示したタブレット

での委員会を可能に、令和5年9月議会からタブレットと紙の議案書を併用、今6月議会からは日程表等以外の議案書は全てペーパーレス化しました。また、スマホ等のアプリによる議会スケジュール管理を進めており、通知等の紙での配布も随時廃止していく予定です。

(3) 陳情の趣旨説明会を開催しました

6月議会では、3件の陳情を受け付け、委員会での審査を経て採択され、意見書を提出しました。今議会では委員会での審査に先立って陳情の内容を

深く理解するため、提出者の出席を求めて委員会ごとに趣旨説明会を開催することを決め、実施しました。

議案の審査や審議を充実するため、さらに議会運営について研究していきます。

総務経済常任委員会



佐藤恵一 委員長

委員長／佐藤恵一
副委員長／荻野友一
委員／原田恵召
小川純夫
渡辺久人

総務経済常任委員会は6月12日(水)に委員会を開催しました。付託された令和6年度長和町一般会計補正予算案、陳情1件について審査し、すべての議案が全員賛成で可決・採択すべきものと決定しました。

令和6年度長和町一般会計補正予算(第1号)について
既定の予算総額に4959万1千円を追加する。

総務課

大門財産区自治会
補助金 白樺自治会補助金

問 新しくできた白樺自治会とはどこのことか。ま

答 た、大門財産区自治会補助金の算出根拠は、白樺ハイルランド別荘地の管理会社が事業を廃止したことに伴い、定住者が区を立

ち上げたものである。

大門財産区自治会補助金は、自治会別の基本割および人口割で決定されており、他の自治会への影響はない。

問 白樺自治会内の水道や道路の管理はどうなっているか。

答 水道は町営、舗装されている主な道路は町道に認定されているので、いずれも町の管理である。

企画財政課

一般企画経費 報償費

まちづくり一般謝金

12万4千円増

問 5月22日開催のまちづくり懇談会において、懇談会出席者の選定方法はどうしたのか。また、出席者の所感や成果を公表してほしい。

答 参加者の選定については、行政と民間の住宅施策に係る方や実際に町営住宅に居住している方を選出した。成果等の

公表方法については検討する。

情報広報課

情報管理一般経費

ライセンス使用料

261万4千円増

問 業務用のパソコン購入において、入札を幅広く行えるように、備品購入費を減額して委託料を増額したとのことだが、最終的に購入費はいくらになったのか。

答 当初、約800万円で購入していたが、最終的には約690万円まで落とすことができた。

産業振興課

農業振興費

獣害防止柵資材費

55万円増

問 事業者からの要望どおりの距離分で補正予算を上げているのか。

答 今回の新規設置にあたり、現地で実測し、要望頂いたとおり未設置区間

となつている135m分を計上している。

建設水道課

河畔林整備事業

(県補助)工事請負費

400万円増

問 河畔林整備事業の認定は町としてどのようにしているのか。

答 住宅や公共施設の有無や近隣の建物への危険度を考慮し選定している。

問 町内各地でアカシアが大木化して林になつている。今回事業対象の河畔林は、町全体の河畔林の何%になるか。

答 今回対象となつている箇所割合はすぐに分からないが、一級河川内にある大木の処理等については、河川管理者である上田建設事務所へ要望していく。

社会文教常任委員会



田福光規 委員長

委員長 / 田福光規
副委員長 / 阿部由紀子
委員 / 龍野一幸
羽田公夫
森田公明

社会文教常任委員会は6月12日(水)に委員会を開催。付託された条例案、条例改正案、令和6年度一般会計補正予算案、陳情について審査し、すべての議案が全員賛成で可決・採択すべきものと決定しました。

長和町原始・古代ロマン体験館条例の一部を改正する条例について

令和7年度から入館料を一般300円、子供200円に

問 入館料の値上げによる増収見込みは。

答 7万円程度の増収を見込んでいます。

長和町黒耀石展示・体験館条例の一部を改正する条例について

令和7年度から入館料を一般400円、子供200円に

問 黒耀石体験ミュージアムは標高が高く、灯油代もかかると思うが100円の値上げでいいのか。

答 平均147万円程の増収を見込んでおり、高騰した光熱水費分は十分に補えると考えています。

令和6年度長和町一般会計補正予算(第1号)について
既定の予算総額に4959万1千円を追加する。

2211万5千円増

こども・健康推進課

健康づくり費

コロナワクチン定期接種等

問 ワクチンの種類は。

答 現在のところ決まっていない。

問 接種予定者数を対象の6割と見込んだ根拠は。

答 令和5年度のコロナワクチン秋接種の高齢者接種率が72%、高齢者のインフルエンザワクチン定期接種の接種率が53%であることから算出した。

問 接種費用15300円の内8300円が国からの助成金だが、個人負担はいくらか。

答 差額の7000円の内2000円が自己負担の予定である。

問 接種率が低かった場合ワクチンが余って町の持ち出しが増えてしまうことはないか。

答 町がワクチンを仕入れることはなく、各医療機関が自院で接種する回数分を発注し管理する。町は接種実績に基づき委託料を支払うため、ワクチンが余る等で増額することはない。

問 接種はこの医療機関でもできるのか。

答 長野県内の医療機関であれば接種できるよう考えている。

問 接種費用の内、ワクチン代及び病院の収入は。

答 ワクチン代が11600円、手技料が3700円である。

町民福祉課

社会福祉総務費

システム改修委託料

49万5千円増

問 福祉医療システム改修委託料の金額の根拠は。見積書どおりの金額で妥

当といえるのか。

答 委託業者からの見積書による。対象システムはシステム共同化委託業者のシステムであり、他町村と金額も同一であるため妥当と考える。

福祉企業センター

施設修繕計画書作成委託料

9万9千円増

問 補正予算に上げているが、施設の改修等は計画的に行うものではないのか。

答 設計書を作成するための現場確認・測量を設計士にして頂くための費用が必要となった。

福祉企業センターの運営については専門的なサービスを提供する社会福祉法人等への経営移譲・業務委託を検討しているが、現行の施設は築40年を超え、改修しないことには経営移譲等の検討や交渉を進めることが難しく、概算の改修費用を算

出するため補正をお願いした。

何人分の予算か。

答 条例において景観審議会は10人以内で組織すると規定しているので、10人分を見込んでいます。

17万8千円増

環境衛生費

景観審議会委員報酬・旅費

問 景観審議会委員報酬は



長和町福祉企業センター作業場

★議会解説★

問 長和町議会本会議の「議事録」は？

答 地方自治法第百三十二条に「議長は…会議録を作成させ…なければならぬ」とあり、会議録の原本(永久保存)とその写しを作成することになっています。長和町議会では、HPで写し(PDF)を公開しています。



1, 田福光規 議員 …………… P. 6

- (1) 難聴者への補聴器購入助成の年齢枠の拡大について
- (2) 「消滅可能性自治体」との指摘に対する評価と今後の対応

2, 荻野友一 議員 …………… P. 7

- (1) 長和町公共交通「ながわごん」デマンド実証運行の経過について
- (2) 長和町地球温暖化対策実行計画について

3, 渡辺久人 議員 …………… P. 8

- (1) 消滅可能性自治体について
- (2) 姫木平自然の家について

4, 原田恵召 議員 …………… P. 9

- (1) 町道宮ノ上入大門線の先線について
- (2) マツクイムシ被害の対策は
- (3) 職員採用試験を早くして人材確保を
- (4) ふるさと納税で空き家・お墓の掃除を

5, 阿部由紀子 議員 …………… P.10

- (1) 有機給食の推進と食の安全性について
- (2) 若い世代が住み続けられる町へ
- (3) 町の情報発信とパブリックコメントの充実について

6, 佐藤恵一 議員 …………… P.11

- (1) 車道マンホールの騒音解消のための対応
- (2) 区・自治会からの要望書について
- (3) 長和町の財政が厳しいとは
- (4) 地球温暖化対策実行計画の施行状況
- (5) 庁内の機構改革について

7, 龍野一幸 議員 …………… P.12

- (1) 消滅可能性自治体について
- (2) 財源の有効活用について
- (3) 安全確認について

質一般

7人の議員が 町政を問う！

第2回定例会では、6月10日(月)11日(火)に一般質問を行い、7人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

難聴者への補聴器購入助成の年齢枠の拡大について

難聴者の補聴器助成の年齢枠拡大を

今後、実績などを見ながら検討していく

問 令和6年度予算に、加齢性難聴者の方々の補聴器購入に対する助成が盛り込まれた。これは私が、2020年3月議会以降計4回の一般質問で、助成の実現を求めてきたもので、長野県下では15番目、東信地域では、南牧村について2番目となるものである。この場を借りて難聴者の皆さんに

問 現時点での問い合わせ等の状況は。

問 5月の大門地区での「議会報告懇談会」において、加齢性難聴は65歳以上で増

る方」という条件を満たせば、年齢枠を広げて助成すべきと考えるが。

認できる範囲において、65歳未満の方の補聴器購入に

おおよそ5件の問い合わせがあり、事業の内容や申請方法等を案内した。5月末現在で、交付申請書の提出を受けて補助金を交付した方が1人、交付申請書を受理した方が1人という状況である。

答 町民福祉課長 4月以降今年度の予算は、一人3万円、5名分の15万円だが、申し込みが上回った場合、補正予算を検討をして頂けるのか。

加齢性難聴は65歳以上で増加するが、人によっては若い年齢、40歳位から難聴になる方もいるので、助成の65歳以上の制限を無くして欲しいという要望が出された。助成を実施している自治体数は全国で237で、対象を65歳以上としている自治体が155と最も多いが、全年齢14、18歳以上11、45、40歳以上11、3、45歳以上11、2、50歳以上11、7、60歳以上11、5と、全体で3割近くの自治体が、65歳以下の方も助成を行っている。現行の「医師により補聴器が必要と診断されてい

答 町民福祉課長 加齢性難聴の割合は65歳以上で多くなっている。一方、18歳以上65歳未満の難聴の原因は様々で、補助対象としていない中程度の難聴の方がどのくらいいるのかわからない状況であるが、これまで確

あるので、今後、相談の状況や実績などを見ながら、町の財政状況も考慮しつつ検討をしていきたいと考えてる。(抜粋)

なり替わり、お礼を申し上げます。ここで改めて、開始された「長和町高齢者補聴器購入費補助事業」の補助金の金額について問う。

答 町民福祉課長 補助額は購入費の1/2以内で、上限は3万円、申請対象は1人1回限りで、補聴器1台

に対しての補助となる。

に対しての補助となる。

に対しての補助となる。

に対しての補助となる。

に対しての補助となる。



「補聴器」使っています。



荻野 友一
議員

長和町地球温暖化実行計画について

地球温暖化を町はどうか対策するのか

策定された実行計画を具体化する

長和町公共交通「デマンド実証運行の経過について

「ながわごん」実証運行の経過は

多くの利用者よりご好評を頂いている

問 地球温暖化対策に、町民の関心が集まらないのはなぜか。

答 町長 自然豊かな環境の中

では、地球温暖化を身近に感じず、実感がわかない面もあるのではないかと、省エネの意識やゴミの分別など、住民の取り組みは浸透してきているといえるのではないかと。

問 長和町は豊かな森林により、二酸化炭素の排出量より吸収量が上回る「カーボンネガティブ」を達成しているが、長和町の大きな特徴をどのように活かしているのか。

答 町民福祉課長 当町の余裕のある森林吸収量を、温室効果ガスの削減が困難な

他の自治体、企業などの埋め合わせに使うカーボン・オフセット制度に使うことなどが考えられる。

問 継続した森林管理による吸収量の維持・確保の向け、町はどのような施策を行うのか。

答 産業振興課長 創設された「森林環境譲与税」を活用し、森林の整備の促進に

関する施策に取り組んでいる。事業を実施するにあたり、上田広域で連携して取り組む体制を整えている。

問 計画の中に、「山間地域の資源を町の中で使い、その恩恵を山に返す」とあるが、具体的にどのような施策を行うのか。

答 町民福祉課長 豊富な森

林資源を活かして、森林による温室効果ガスの吸収量を他の場所や企業などの排出の埋め合わせに利用するカーボン・オフセットを行うための吸収量の売買を行える制度「J-クレジット」の活用などの方法により、得た収入を森林整備に利用し、森林の管理・保全を行うことが考えられる。

問 デマンド交通「ながわごん」の実証運行が4月1日より開始されたが、今までの経過と利用者の意見は。

答 町長 これまでの「ながわごん」の運行形態を見直し、利便性と効率性の良い

フルデマンド方式を導入して実証運行を開始した。初日より多くの皆様に利用され、好評を得ている。実証運行期間の利用実績に基づき、長和町に適した運行形態へ定期的に見直しを行い進化に努める。

問 本人による予約が困難な場合、病院などの補助は考えられないか。

答 町長 依田窪病院や丸子中央病院に関しては、予約のお手伝いをお願いしている。ほかの場所での補助については総務係まで連絡を頂きたい。
(抜粋)



フルデマンドになった「ながわごん」



渡辺 久人
議員

消滅可能性自治体について

「消滅可能性自治体」とは

20〜30代の女性が半数以下になる自治体

問 「人口戦略会議」が公表した「消滅可能性自治体」に

長和町も含まれる。「消滅」という語句は非常に不安をおおるが、この公表を町長はどう捉えているか。

答 町長 「人口戦略会議」は

あくまでも民間の組織で、公の機関が公表した数値ではないと認識している。また、地域の可能性を人口の増減のみで、消滅可能性があるとか、自立持続可能性があると判断するのはいかがなものかと強く感じている。

問 人口減少と地域経済縮小の克服などを基本的な考えとして始まった地方創生事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として行わ

れてきた。

「消滅可能性自治体」の公表を受けて、この事業をどう評価するのか。また、来年度以降の人口減少、「若年女性人口確保」の施策はあるか。

答 企画財政課長 本年度事業終了後には、第2期計画全体の評価を実施することとなる。また、本年度中に

次期総合戦略の策定を進めるが、次期実施施策の中に人口減少、「若年女性人口確保」施策について掲載していくようになるのではないかと考える。これらの施策は広範囲となるため、各事業の中に関連付けされるものと考えている。

問 就学や就職のために故郷

を離れても、子供たちが故郷・長和町を強く意識する

「ふるさと教育」はできないか。教育委員会は現場に出向き、客観的に検証する必要があると考えるか。

答 教育課長 「ふるさとの

姫木平自然の家について 「姫木平自然の家」譲渡の経過は 課題があり、現在、協議・検討中である

問 「姫木平自然の家」は、(株)

マウント長和の指定管理を取り消し、施設の老朽化等諸般の事情により、この3月31日を持ち閉館した。

自然の家の施設は、(株)マウント長和に譲渡する方向だというのが現在の状況は。また、解体費用の2億円は

教育」については、小中学校ともに行っている。

地域を知り、誇りに思い、地域を愛しむ心を育てる学習の成果は、地域の未来にもたらされると信じている。

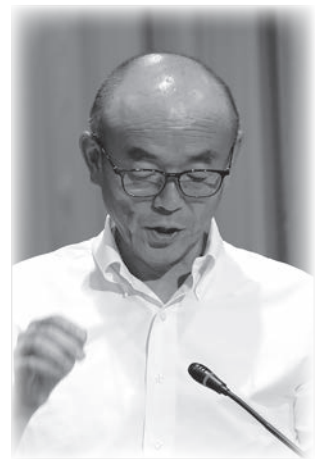
答 産業振興課長 現在、施設の譲渡、在り方について

様々な検討協議中で具体的に決まっていないと認識している。譲渡する際には、解体費用は(株)マウント長和へ支払いたいと考えている。

(抜粋)



閉館した「姫木平自然の家」



原田 恵召
議員

町道宮ノ上入大門線の先線について

宮ノ上入大門線先線はなぜ止まったのか

入大門バイパスに繋げる予定はなかった

問 当初の計画はどうだったのか。入大門バイパスにつなげる計画はあるのか。

答 建設水道課長 地域耕作者が利用する農道であり、入大門バイパスへ繋げる計画は無かった。現時点で町道を入大門バイパスまで繋ぐ計画はない。

問 10年、20年先の将来を見た時に、住宅街を通るのではなく田んぼの中を通る道は交通安全からも有効と思う。改めて国道のバイパスとして国に要望する考えはないか。

答 建設水道課長 地域の皆様から要望等が寄せられた場合には、関係機関及び関係者と協議する。

問 国道152号線の落合から入大門までの間について車やバイクのスピードを抑える対策は無いのか。

答 建設水道課長 規制表示や道路への注意喚起等について、県、警察署、道路管理者である上田建設事務所等、関係者と協議して地域住民の安全安心の確保に繋がるよう進めていきたい。

問 小茂沢橋が狭く欄干にぶつかる車が後を絶たない。橋の架け替えや橋の外側に歩道を付けるよう県に要望してもらえないか。

答 建設水道課長 現場を確認し、上田建設事務所と協議しながら進めさせて頂きたい。

マックイムシ被害対策は

マックイムシ被害の対策はどうするのか

しっかりとした対応を行っていききたい

問 古町から長久保にかけてマックイムシによる松枯れが広がっており、被害が増えている。なぜ増えてきたのか。

答 町長 温暖化の影響もあり、近年では標高約1100mの地域まで被害が確認されている。大門の宮ノ上地区、和田では湯遊パークグラウンド周辺まで被害が確認される。特に標高900m以下の地区では早いペースで範囲が拡大、著しい被害が発生している。

問 対策として何を行っている

るのか。町・県の予算は増えているのか。

答 産業振興課長 現在の対

職員採用試験を早くして人材確保を

採用試験や面接を早め、人材の確保を

試験を早め良い人材の確保を検討している

問 採用試験や面接を早め人材を確保したらどうか。民間が早いので、遅ければ応募がないのは当然。年度途中で採用を行い、広く人材を確保しては。

答 副町長 採用試験を早める検討をしている。予定数

策は主に伐倒燻蒸であり、春駆除と秋駆除の年2回実施している。樹種転換については信州上小森林組合が事業主体となっており、両事業とも県補助事業として実施している。

を確保できない場合などに中途採用を行うことも検討している。また、会計年度任用職員として採用し、その後正規職員に採用していくことについて、今後採用方法の一つとして取り入れていく。(抜粋)



阿部由紀子
議員

若い世代が住み続けられる町へ

若者や女性、子育て世代の声を聞いて！

町の住民が幸せに暮らす施策を行っていく

問 5月に議会懇談会を行った。どの会場でも「消滅可能性自治体について」が話題に上がり、町民の方達の中でも危機感を持っている様子だった。

答 問題となっているのは、出産の中心世代となる20〜39歳の女性が半数以下に減少すると見込まれる自治体で、今後、この世代をいかに呼び込むか、また、町外への流出を抑えることが出来るかが、存続へのカギとされている。

問 現在、長和町の全人口のうち、20代と30代の女性の割合は、
答 企画財政課長 令和6年5月1日現在、町の人口は5547人で、うち20代の

女性は148人、30代の女性は191人であり、率はそれぞれ2・67%と3・44%となる。

問 町に住んでいる若い世代の女性に「長和町での生活は若い女性にとってどう思うか、今後、ここに住み続けていくには何が必要と考えるか」を聞いた。

答 自分ひとりの場合には車も運転できるので困っていないが、将来子どもを産み育てることを考えると、今の子育てをしているお母さんたちが言っているような問題に突き当たる。どこへ

行くにも遠く、時間がかかり、子どもだけではどこにも行けない、習い事や行きたい学校などの選択肢をせばめたくないとなると、送り迎えをするなど、自分を削っていくかなければいけない。自分が専業主婦でいられるなら良いが働きながら子育てをすることを考えると厳しいのではないかと、と思う、との意見だった。

問 人口減少はひとつの自治体だけでは解決できない問題だ、といった声も聞かれるが、若い人

がここで子育てをしていく未来を考えた時、今ある課題をひとつずつ解決していくことが望まれる。若い女性の意見や視点を町の政治に反映させるための取り組みが望まれると思うが、今後の対策や町の考えは、

答 企画財政課長 長和町が「消滅可能性自治体」とされたことについては、「そうではない」と考えている。市町村は、生き残りのための施策に重点を置いて行っているのではなく、最も重きを置いているのは、町に住んでいる住民がしあわせに暮らしていくことができるような施策を実施していくことだと考えている。人口問題は、国が責任をもって対応していくべきである。町の少子化対策等について皆様の意見を聞くことは町の施策を進めて行くうえで必要なことと考えており、現在行っている事業の他に対応策があるかどうか検討していきたい。(抜粋)



長和町子育て支援センター

【5つの考え方に基づく組織機構の見直し】

- ① 人口減少に対応した組織づくり
移住定住対策、空き家の利活用と危険家屋解消対策の一元化
- ② 超高齢化及び子育て支援の充実を目指す組織づくり
ひと一人、一生涯を見据えた健康増進
妊娠・出産・育児・子育てまでの政策の維持
保健福祉事業と保険事業の連携強化
- ③ 特色ある政策立案の強化に対応した組織づくり
地球温暖化対策、SDGs、景観など特色あるまちづくり
- ④ 職員数に対応した組織づくり
効率的な組織体制の構築と課や係の減数化
- ⑤ 相談しやすく働きやすい課の統合及び係の再編
複数にまたがる事業の一元化
ワンストップに対応した組織



佐藤 恵一
議員

庁内の機構改革について

庁内の組織改革はいつ行うのか

10月を目途に準備を進めている

問 住民の要望への対応が柔軟かつ迅速にできる組織が求められているが。

化社会に向けた行政運営を行うため、5つの考え方に基づき組織機構の見直しを行うこととした。(左表)

区、自治会からの要望書について

要望書をより簡易に提出できないか

円滑に提出できる体制を整えることがベスト

問 メール・FAX等の受付も可能か。

答 総務課長 地域の課題や要望などは、その経緯を確りと記しておくために要望

書などを提出頂き対応している。メール、ファックス等の受付も可能。様式や記入方法などは町ホームページに掲載してある。

車道マンホールの騒音解消のための対応

車道上マンホールの衝撃音解消を

道路管理者の建設事務所と協議していく

問 マンホール騒音の相談や苦情に対する町の対応は。

答 建設水道課長 マンホール周りの工事は1箇所あたりの費用が高額になってしま

併せて実施しているが、苦情や相談等は建設水道課へ連絡頂き、現状を確認しながら協議していく。

まうため国道の舗装工事に

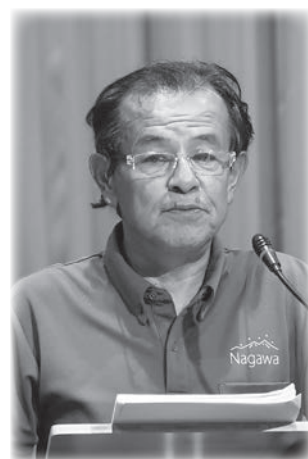
問 可能な限りマンホールの騒音を低減する施策をとれ

ないか。

答 建設水道課長 大型トラック等がスピードを出してマンホール上を走行する時に騒音や振動等が発生している。騒音等を低減するための対応等について、他町村の対応等も参考に、道路管理者である上田建設事務所と協議し、検討していきたい。(抜粋)



合併前からのマンホール



龍野 一幸
議員

消滅可能性自治体について

消滅回避には企業誘致など推進を

企業支援と新産業の創出に取り組む

問 消滅可能性自治体からの回避は、遊休地を集約化し

企業誘致を図り町民が町内で働ける環境を整備し、商売として成り立ちそうな動物病院やショップ等の出店の呼び込みなど、改善できる要素は沢山あり推進を望むが。

答 産業振興課長 令和5年

12月、上田市・東御市・青木村と、地域経済牽引事業を促進する地域計画を策定した。第二次長和町長期総合計画後期基本計画にある「企業支援と新産業の創出」に取り組み地域として古町呑入地区を重点地域に設定した。事業者及び企業誘致留致などこの事業の実現を目指し、積極的に取り組ん

で行く。

問 議会における内閣府官房

参与の「人口減少と少子化対策について」の研修で、育児は女性任せから夫婦で育てる育児への教育は必要だ、との解説だった。男性の育児を小中学校のカリキュラムにしては。

財源の有効活用について

え！稲作の中干しは金になるの？

10a当たり1700円とされるが

問 当町は「長和町地球温暖

化対策実行計画」を公表した。温室効果ガスの吸収量は排出量を大きく上回っており、Jクレジット制度を活用し余剰分を売却し財源にしては。

答 教育長 小学校では人権

教育において、中学校では家庭科授業に加えジェンダー学習で踏み込んだ学習をしている。

問 当町男性職員の育児休暇

の取得率の推移は。
答 総務課長 育児休暇取得の実績は、合併以降無い。

答 町民福祉課長 本計画は

環境省の補助事業により実施している。町有林のうち町が管理できる範囲に限られると思うが、調査検討しに行く。

問 農林水産省の分野では稲

作における中干しも方法論

に加わり売却できる。町が集約し森林や牧畜と合わせ売却、その一部を営農者に還元して残りを町の財源にする考えは。

答 産業振興課長 期間を証

安全確認について

町内のカーブミラーの安全確認は

日常点検はしていない

問 愛媛県でカーブミラーが倒れ児童が怪我をする事故があった。町内のカーブミラーは何基あるか。腐食やその他の安全確認は。

答 町民福祉課長 設置数の

確認は出来ていない。日常の点検は行っていないため通行人や近隣住民の方から

の連絡で、その後担当者が状況確認してからの対応を考えている。
(抜粋)



カーブミラー

会談懇話会 視察委員会 組合 研修 委員会 広域 議 活動報告

■ 議員のためのハラスメント防止研修

無意識の偏見 を見つめ直さ なければ!



Ogino

5月10日(金)、一般社団法人公務員研修協会代表理事高橋直人氏による「議員のためのハラスメント防止研修」がオンラインで行われ、議会議員9名と議会事務局が参加しました。

役所と民間では優先すべき価値が違う。役所においては、中立性、公正性、継続性が時に効率性より優先されなければならない。この中で公務員は、客を選べ



WEBでハラスメント研修を受講

ない、撤退できない、業態変更できない、等価交換できない、競争原理が働きにくい、心情的にブレイキが利きにくい、成果と給与が連動しにくいといった現状が話され、非営利組織のマネジメントが必要であると理解しました。

このような環境の中で、公務員に特化したハラスメント防止策が必要となり、この施策を行う上では、背

景や定義が異なることや、社会的、道義的責任を負うことを勘案しなければならぬことを学びました。

ジェンダーフリーの価値観の普遍化が浸透しつつある現在の社会の中で、自分の人生において培われてきた無意識の偏見について、見つめ直さなければならぬことに気づかされた研修になりました。

(報告…荻野友一議員)

■ 議会報告懇談会



第1日 和田コミュニティセンター

懇談会で得た 町民の想いを 町政へ



5月8日(水)〜10日(金)の3日間に渡り、町民の皆様のご意見・ご要望を伺い、議会で議論し町の政策へ繋ぐ目的で、議会報告懇談会を3地区で開催しました。今回は、3月定例会における令和6年度予算に対する審議結果と予算特別委員会審査の内容、和田保育園土地購入・やすらぎの湯指定管理料・たかやまスキー場の返済計画に関する委員会での附帯意見3件について報告し、その後、質疑を行いました。

□第1日 和田コミュニティセンター

6名の皆様にご参加頂きました。消滅可能性自治体の話題があり、古くから町に住んでいる住民の目線や移住者の目線等々からの意見が出されました。求心力を持って若い人たちを集める政策の必要性を訴える声、町



第2日 大門基幹集落センター

には魅力も沢山あり、付加価値を付けた情報発信を積極的にやってほしいという要望、議員の町に対するヴィジョンを問うなど、活発な意見が交わされました。

古町会場では、13名が参加され、マウント長和からの町への返済(施設利用料)が先送りされた理由、グリーンシーズンのゲレンデの活用、実証運行が開始されたデマンドバス条例の一部改正について賛否が分かれた理由、バスの運行時間・料金・予約システムの検証や今後のあり方、予算が前年比3億円余

に砂防ダムから一気に土石流が流出した、デマンドバスの実際に合った課題と改善を求める、など大門会場は住みやすい地元を目指した意見交換でした。その他、和田保育園土地購入以前に、町の保育園の今後の方針を協議すべきとのご意見も頂きました。

今回の3会場では、多くの意見や要望を聞くことができました。いくつかの案件は既に行政に繋ぎ、6月議会的一般質問でも取り上げられています。今後は若い人の意見を聞く場を増やし、子孫に繋ぐ活動にしたいと思えました。

(報告：龍野一幸議員)



第3日 古町コミュニティセンター



「中富良野町議場」と「ファーム富田」

□長和町議会では、6月25日(火)から27日(木)の3日間、社会文教・総務経済両常任委員会合同で、北海道中富良野町と上富良野町に行政視察を行いました。中富良野町の義務教育学校の設置に向けての動き、上富良野町の町立病院新築に伴う病院経営についての取り組みなど、長和町とほぼ同規模の町の課題と政策について視察研修を行いました。

■ 中富良野町行政視察

統合校舎で 小中学校を義務教育学校に



6月26日(水)、中富良野町の小中一貫教育の導入について、行政視察を行いました。

中富良野町は、北海道のほぼ中央にある富良野盆地に属し、人口は約4700人。町の中央部に水田が、東西に畑地が広がる稲作と玉ねぎ栽培が盛んなクリン農業推進の町。また、ラベンダーを中心とした花の町で、年間100万人を超える観光客が訪れる。

中富良野町では、校舎の老朽化や児童数の減少により、小学校4校の内、中富良野小学校と宇文小学校が令和6年4月に統合し、その中富良野小(児童数171名)と旭中小学校(児童数12名)、西中小学校(児童数15名)が令和7年4月に、統合することが決定した。旭中小の閉校にあたっては、5年ほど前から地域から閉校を意識した発言があり、地域住民の意見聴取の後、児童数・学級数の減少、

新校舎の建設を踏まえ、閉校を決定。

西中小では、保護者の一部から小規模校の良さを大切に存続を希望する声も上がったが、町は、今後の児童数や学級数の推移、老朽化した校舎の改修などを踏まえ、地域住民に理解を求めた。反対する意見もあったが、地域とPTAの総意として閉校を決定した。

中富良野中学校と富良野小学校は、外壁をはじめ設備に及ぶまで老朽化が進んでいて改善が必要で、両校の建築年度(昭和52〜55年)が近いことから、経済的にも敷地の面からも両校の施設を一体化させて新築するのが良いとされ、小中一体型の施設を活用した小中一貫型教育「新しい学校づくり」＝義務教育学校を検討することになった。

義務教育学校とは、小学校6年間と中学校3年間の義務教育を一体とした9年制の学校で、幅広い年齢の

児童生徒が共に過ごすことで、多様な価値観や人間関係を築くことを目的として導入設置される。

新しい校舎は令和7年8月完成予定で、7年度2学期より統合した中富良野小学校と中富良野中学校が移行して授業を始め、令和8年度から小中学校が統合して義務教育学校となる。

新校舎は断熱に優れ、外壁面の太陽光パネル、地中熱などを使った省エネ設計で、建物のエネルギー消費量を50%削減するなど、環境問題にも配慮している。

通学に関しては、中学校通学のスクールバスが全域を運行しており、児童館・学童は1箇所にある。中富良野町では、児童数の減少に対応するため、子育て支援に関する施策を今後も充実させ、地域全体で子育てを支える体制づくりを進めていくとのことであった。

中富良野町の小中一貫教育の取り組みは、少子高齢



「上富良野町役場前」と「フラワーランドかみふらの」

化や地域のニーズに対応した10年先20年先を見据えた前向きな取り組みであり、「これまでの固定概念にとられない教育を」という言葉が印象に残りました。当町でも和田地域の保護者からは長門小との統合を望む声が聞かれます。町の子どもたちに今後どのような教育環境を整えていくのが参考になることがたくさんあり、考えさせられる視察研修となりました。

(報告：阿部由紀子議員)

■上富良野町行政視察

建設中の上富良野町立病院を視察して



Harada

6月26日(水)、新病院の建設が進む上富良野町を訪れ、町立病院の運営等について行政視察を行った。

上富良野町は、2077mの十勝岳を最高峰とし、温泉、町花ラベンダー、麦を加えた飼料で育てた「かみふらのポーク」、丘陵地でのホップ栽培などが盛んな農業と観光の町です。大正6年に中富良野村が上富良野村から分村したという。

「健康づくり推進のまち」を標榜する、5215世帯9793人の上富良野町では、昭和54年に建設した上富良野町立病院の老朽化に伴い、令和4年から新病院建設が始まり、令和7年6月頃を目途に建設が進んでいた。

病院は、常勤医師3名で運営していたが、3月末に1名が退職。現在は院長と副院長の2名体制となつて

いる。その他は非常勤医師として旭川医科大学病院から内科と外科に医師の派遣を受け、旭川医科大学病院の系列となっている。

現病院は、一般病床80床で開院したが、平成12年に36床を介護療養型老人保健施設(要介護高齢者が在宅復帰・在宅支援を目指す施設)に転換、令和2年には老健を介護医療院(要介護高齢者の長期療養・生活の為の施設)28床に転換している。

職員は正職員が48名、会計年度任用職員が46名、事務職員5名は役場の職員で専門職はいない。

現在一般病床が39床、介護医療院が32床あり、新病院では一般病床30床、介護医療院40床となる予定である。令和4年の実績で、入院が年6548人、一日平均17・9人、介護医療院は年9744人、一日平均26・6人となっている。

新病院建設は、当初の計

画より2割ほど工事費が膨らみ、現在、延床面積5911㎡4階建てで、工事費が約45億7千万円、地中熱設備に10億76百万円で、合計56億46百万円を見込んでい

る。財源は、地中熱設備には国庫補助と北海道の補助金が7億1千万円ほどあるが、病院建設には補助金がないため残りの約50億円については過疎債と公営企業債を充てる予定である。

病院の経営は令和4年に8千万円程の赤字、令和5年に1億6千万円程の赤字であるが、現金は確保されているので、さらなる健全経営を行っていくと言っていた。新病院の建設で地方債の返済が毎年2億円近くになるが、町立病院は町になくてはならないものなので、議会も建設や経営に対して納得していると言う。

患者が町立病院で対応できないときは旭川まで車で1時間ほどなので、そちらに搬送すること。町

にはなくてはならない病院であるが、重症・重病患者は大きな病院にということである。町立病院を、救急患者や重傷者を旭川市・富良野市の医療圏に搬送するゲートキーパーだといひ、さらに新病院で医療提供水準の維持を図っていくとのこと。

町立病院は、一般病床と介護医療院を併設する、地域に住む人が住み慣れた場所です。自分らしい生活最後まで安心して送るための中核施設、という位置づけであった。

さて、依田窪病院はどうでしょうか。毎年4億円を過ぎ込まないと運営できない状態であり、今のままで町が破綻してしまふ。今回の研修を参考にして、病院の運営に意見を申し上げていきたい。

(報告：原田恵石議員)

■ 上田地域広域連合議会臨時会



池田議長、花岡副連合長選任

員に池内淳子氏が選任されました。真田消防署に配備される高規格救急車購入が認められ、車両は日産パラムデック、契約金額は3443万円、納入期限は令和7年2月10日です。

(報告：渡辺久人議員)

5月24日(水)、上田地域広域連合議会臨時会が開催され、上田市議会の改選に伴う選出議員の報告と議会議長選挙、副広域連合長の選任など3議案、救急車の購入、報告2件が上程され、全て可決、承認されました。議会議長には上田市議会議長の池田総一郎氏が当選されました。また、先に行われた東御市長選挙において再選された花岡利夫氏が副広域連合長に選任されました。議会選出の監査委員には久保田由夫氏、公平委

■ 依田窪医療福祉事務組合議会臨時会



上田医療センターと連携協定結ぶ

6月24日(月)、依田窪医療福祉事務組合議会・令和6年第1回臨時会が開催されました。上田市議会の改選に伴い新たに選出された組合議会議員が報告され、議席の決定の後、副議長選挙を行い、松尾卓氏が選出されました。

羽田組合長の招集挨拶・提案理由の説明の中で、上田医療センターと国保依田窪病院の間で、急性期医療連携(いわゆる「下り搬送」)協定が締結されたこと、老人保健施設いこいで、現在

専門アドバイザーが老健の運営等に関して調査・検討を行っておりその結果を9月議会に報告提案することが示されました。

(報告：田福光規議員)

■ 上田市長和町中学校組合臨時会



田福議長、高田副議長選任

6月28日(金)、上田市長和町中学校組合第1回臨時会が、依田窪南部中学校において開催され、新たな上田市議員の選出に伴う正副議長選挙、教育委員会の委員の任命について、審議が行われました。

議長には田福光規議員、副議長には高田忍議員が選出されました。また、上田市教育委員会の人事異動により、酒井秀樹氏の中学校組合教育委員への任命が同意されました。

(報告：羽田公夫議員)

■ 議会モニター会議

町政の課題が 見える議会 委員会質疑に

6月議会のモニターアンケートをもとに、7月12日（金）に、第2期第3回議会モニター会議を開催して意見を伺いました。

■ モニターアンケートから

(1) 本会議 専決処分は「議会軽視」とも言え、重要な事件も含まれる可能性もある。健全な予算執行の監視役を望む。／町長の提案理由の説明以後もテレビ放送されるようになった。改善の第一歩。

(2) 一般質問 阿部議員の質問が良かったのか、町側の考えが良くわかった。／質問項目が重なるとき、事前調整などで違った角度の質問を。／消滅可能性自治体については町民との懇談会を設けたらどうか。／国の制度の意味を冒頭に説明して、その後質問に移れば質問する意義がわかる。

(3) 委員会 委員会は質問や要望がわかりやすく、聞いていて面白い。／委員会でいつ何を取り上げるのかの案内がない。／システム改修は今後も行われると思うので、見積り等について何かの対策を提案してほしい。

(4) 要望等 回を重ねて話を聴くことで、理解が深まり意見や質問も出てくるのでモニターもある程度継続することが必要なのは。

■ 頂いたご意見には一つ一つ検討し真摯に対応していきます。
(抜粋)

意見書

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める意見書
・提出先 長野県知事

「へき地教育振興法」は、都道府県の任務として…教員に十分な研修の機会と必要な経費の確保を規定し、へき地手当の月額は「…文部科学省令で定める基準を参酌して条例で定める」としているが、長野県は省令で定める基準8%の3分の1程度である。教職員の人材確保、教育の機会均等、教育条件整備等の諸観点から、へき地手当支給率を回復することを要望する。
(要旨)

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書
・提出先 衆議院議長
長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 総務大臣 文部科学大臣

義務教育費国庫負担制度は、2006年国庫負担率が1/2から1/3に引き下げられた。どの子にもゆきとどいた教育をするため、以下の措置を講じられるよう強く要請する。
1、必要な教育予算の確保 (1)さらなる少人数学級の推進 (2)複式学級の学級定員の引き下げ (3)教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善。
2、義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を1/2に復元するなど拡充すること。
(要旨)

最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣

日本の最低賃金は、地域別であることが…上がらない原因になっている。政府に対し、最低賃金法を全国一律制度に改正すること。労働者の生活を支えるため、最低賃金時給1500円以上をめざすこと。…中小企業、農林水産業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守ることを要望する。
(要旨)

表彰

原田恵召議員が、
長野県町村議会議長会から
自治功労者表彰を
受けました。



森田議長の議会概説(14)

● 6月議会から、ゆいネットにて放映する本会議の生放送の時間を延長しました(2Pで説明)。
議会は町の民主主義を集約し表現し町の方向を決める場ですのぞ、町民の皆さんに見て考之評価して意見して頂きたいと願っています。

問 「定例会の一般質問を議員はどうする？」①
答 一般質問は、第66・67号で流れを概説しました。本会議等の質疑では議題とする事件についてだけ行政に対し質すのに対し、一般質問では行政全般について議員が議題と論点を決めて問い質すことができ、定例会のみで実施します。一問一答で、質問時間は質問と答弁合計で一人最長60分までです。質問の通告は議会運営委員会開催の前日正午までですが、その1週間程前に質問予定議員が集まり、各々の質問について打合せ会を行っています。

原田恵召議員は、平成12年に旧長門町議会議員に初当選されました。5年余務めた後、平成17年に合併により長和町議会議員となり4期務めています。この間議長、議会運営委員長などを歴任され、平成27年には全国町村議会議員表彰を受けています。この度、議会議員として18年以上務められた功績を認められ、県議長会総会で表彰され、森田議長より伝達されました。

Morita



● 次も一般質問についての続きです。

★表紙写真の説明★

■「姫木平ホワイトビーチ
キャンプフィールド」

「姫木平ホワイトビーチキャンプフィールド」は、令和3年春、姫木平キャンプ場を再整備してオープンしました。(株)マウント長和が運営し、自然に親しむ人や森の中のキャンプを好む人々から支持を得て、1シーズンの概ね



1万人が訪れ、豊かな自然とアウトドアライフを楽しんでいます。ホワイトビーチは白樺の意。標高1300mに30区画のキャンプサイトと約6000㎡のフリーサイトがあります。

■マチイロアプリ

リを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会がより見ることができ

マチイロ
マチを好きになるアプリ



長和町 あの人を訪ねて

— 第21回 —



はた ももたろう
羽田 桃太郎 さん
(和田 上組区)

略歴・活動

1997年長和町和田(上組)生まれ。立教大学経営学部を卒業。大学卒業後、東京の専門商社に数年勤務し、2022年から(株)日本ウォルナットに勤務。現在は営業部に在籍し、営業だけでなく幅広く活動を行っている。

広報広聴常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 どうして長和町に？

答 私の生まれ住んだ町が長和町です。地元の保育園、小、中学校を卒業し、子供の頃は伸び伸びと生活することが出来ました。

また、学生時代、都会への憧れがあったので、大学と社会人の6年間は東京で生活をしました。長和町とのギャップを自分なりの物差しで見ると、また実際に体験することが出来、良い経験だったと感じています。父親の経営する「(株)日本ウォルナット」へ戻ることは学生時

代から決めていました。二十歳の成人式に、「地元へ戻り、父親の会社」と「長和町」へ貢献する。」と宣言したことは今でも覚えています。

自社は「ケルミ殻などの廃棄物としてしまう物を、植物性の研磨材・充填材」にリサイクルする事業」を和田で行っています。昨今のSDGsやカーボンニュートラルといった、環境に優しいサーキュラーエコノミー型企業としての自負があります。

問 町での生活は快適ですか？
答 私にとっては慣れ親しんだ

大好きな町なので、快適に生活しています。

昨年の「和田宿 宿場まつり」に時代行列の花嫁道中新婚役として参加させて頂いたり、旧和田中学校で行われた「第2回モルックウンチヨコカップ」にも社員と一緒に参加しました。魅力的なイベントが定期的に開催される地元は住んでいて楽しいです。

問 今後やりたいことは？

答 経済活動を通して地域に貢献することです。人口減少による少子高齢化のスピード感を実際に感じています。長和町は削減可能性に指定されている市町村の1つですが、都市部までも人口減少の波は襲ってきているため日本全体の危機であり課題だと思えます。そんな中で「経済活動を通して、地域の魅力を伝えること」によって、明るい未来があると信じています。日本の将来を変えることが出来る市町村の1つとして、自覚を持って日々の生活に励んでいきたいと考えています。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の思いなどを掲載します。第75号は、龍野一幸 議員です。



▼日本海の高い海面温度で、多雨や気温上昇、熱中症警戒アラートが発令されるなど、今年も警戒が必要です。▼以前も触れました町のたばこ税。新年度予算の税収入には3750万円が計上されました。1箱につき22・6%が町の収入とのこと。▼今回は、もし「癌」になったら、です。入院した場合、1か月の医療費は約77万円が平均で、高額医療費制度を活用して個人負担額は4万から8万円(所得の相違)となるようです。がその分、町の国保会計は厳しくなります。とは言っても大切なのは人の命。地区特定検診と人間ドックは必ず受けましょう。愛煙家の私ですができればやめたい。喫煙しながら悩んでいます。

ながわまち 議会だより 広報広聴常任委員会

- 委員長 羽田 公夫
- 委員 龍野 一幸
- 佐藤 恵一
- 田福 光規
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見やご感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp